



QUALIFYING PRACTICE
OFFICIAL REPORT

手負いの高橋巧が5連続ポールポジションを獲得! 流れを変えたい中須賀克行が2番手 好調の水野涼が3番手でJSB1000初フロントロウ

今回のツインリンクもてぎ2&4レースから全日本ロードレース選手権は、JSB1000クラスのみ、一足早く2019年シーズン後半戦に突入した。ここまで開幕戦ツインリンクもてぎでダブルウインを飾ったのは、絶対王者として君臨してきた中須賀克行だったが、鈴鹿、SUGOと2戦連続でダブルウインを達成した高橋巧がポイントランキングをリードしている。今回も高橋がイニシアチブを握るかと思われたが、シーズンの流れを変えることになるかもしれないアクシデントが起こった。

高橋の所属するTeam HRCを始めYAMAHA FACTORY RACING TEAM、Kawasaki Team GREEN、MuSASHi RT HARC-PRO.、YAMA-LUBE RACING TEAM、will-raise racing RS-ITOHは、前週にプライベートテストをツインリンクもてぎで行ったが、その2日目・午前中のセッション最後に高橋がマシントラブルで転倒。右足ヒザの付け根部分の腓骨を骨折してしまう。すぐに入院し、リハビリを行った高橋は、レースウィークの火曜日に退院。とりあえず走ってみたいと分からない状態で金曜日のセッションが始まった。初日、高橋は1分49秒339で5番手タイムながら「引っかからなければ1分48秒台には入った」とケガの影響を、それほど感じさせない走りを見せた。それは土曜日に入っても変

わらなかった。周回数こそ他のライダーよりは抑えたものの公式予選をリードする走りを見せた。

気温32度、路面温度52度という厳しい暑さの中でのタイムアタックとなった公式予選は、今シーズン初めてノックアウト方式で行われた。高橋は、Q1で、ただ一人1分48秒台に入れトップにつけると、Q2でも1分48秒693まで詰めポールポジションを獲得した。

「ケガは骨のアタマが欠けたくらいで松葉杖も使わないで済んでいます。普通に乗ることができていますし、タイムも出ているので、いい勝負ができそうです。レースが終われば(ケガの影響があるか)かは分かるでしょう」と高橋。手負いの状態ながら、5レース連続でポールポジションからスタートすることになった。

その隙を突きたかった中須賀だったが、予選のコンディションに合わせるのに意外に苦戦したと語ったが、それでもハイアブレーションを見せ、しっかり2番手タイムを出してきている。チームメイトの水野根航汰はツインリンクもてぎを得意としているが、予選はQ2で選んだタイヤをうまく使えず5番手となった。しかし、Q1では、決勝を見据えフルタンクに近い状態で決勝用タイヤを履いて走ったにもかかわらず、1分49秒297をマークしているだけに調子はよさそうだ。

予選3番手につけた水野涼も高橋と同仕様のワークスマシンを手に入れ調子を上げている。JSB1000クラスにステップアップし、2年目のシーズン。鈴鹿8耐でもチームを引っ張る走りを見せており着実な成長を見せている。

トップ争いは、ホンダの2台とYAMAHA FACTORY RACING TEAMの2台に、ヨシムラの渡辺一樹、Kawasaki Team GREENの渡辺一馬が、どこまでついて来られるかと言うところだろう。渡辺一樹は、テストを行っていないが、コースとの相性がいいと語る。渡辺一馬は、プライベートテストでは、トップタイムをマークしており、決勝日朝、そしてレースまでのアジャストがうまく行けばトップ争いに加わることができるはずだ。

天気予報は曇りとなり路面温度によっては、他のライダーもトップグループに加わってくるかもしれない。23周という長丁場で、一番暑い時間に行われる今回のレース。レース序盤はお互いに様子を見ながら周回を重ね、タイヤの厳しくなるレース終盤に勝負を仕掛ける展開になることが予想される。

手負いの高橋がレースをリードするか!? 中須賀が意地を見せるか!? 水野、水野根の若手がレースをかき回すか!? シーズン後半戦の流れを占う一戦となりそうだ。

JSB 1000 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE RESULT & INTERVIEW



公式予選結果

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走29台
●決勝レーススタート/12:10(23周)

Pos.No.	Rider	Team	Q2	Q1
1	13 高橋 巧	Team HRC	1'48.693	1'48.968
2	1 中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	1'48.785	1'49.381
3	634 水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	1'48.827	1'49.142
4	26 渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	1'49.306	1'49.996
5	4 野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	1'49.311	1'49.297
6	23 渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	1'49.480	1'49.417
7	090 秋吉 耕佑	au・テルル MotoUP RT	1'50.241	1'50.444
8	12 加賀山 就臣	ヨシムラスズキMOTUL	1'50.432	1'50.383
9	64 岩戸 亮介	Kawasaki Team GREEN	1'50.641	1'50.228
10	75 前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	1'51.087	1'50.925
以上 Q2にて決定:				
11	71 津田 拓也	TK SUZUKI BLUE MAX		1'51.094
12	15 Zaqhwan Zaidi	Honda Asia-Dream R with SHOWA		1'51.210
13	18 津田 一磨	Team Baby Face		1'51.311
14	080 羽田 太河	au・テルル MotoUP RT		1'51.543
15	46 星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413 BMW		1'51.664
16	44 関口 太郎	Team ATJ		1'51.909
17	87 柳川 明	will-raise racingRS-ITOH		1'51.924
18	35 亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team		1'52.344
19	36 今野 由寛	Moto Map SUPPLY		1'52.555
20	19 濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ		1'53.013
21	40 菅原 陸	JOYNET GBSレーシング YAMAHA		1'53.162
22	22 児玉 勇太	Team Kodama		1'53.897
23	70 清末 尚樹	Team WITH87KYUSHU		1'54.099
24	85 中富 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ		1'54.178
25	33 中村 知雅	中村エンジン研究所		1'54.376
26	92 樋口 耕太	H.L.O RACING		1'54.855
27	708 山添 康孝	A-Garage*PROJ-FATE#708INNOCENT		1'56.462
28	42 武田 数馬	浜松チームタイタン		1'57.600
以上予選通過車両:				
29	66 上林 隆洗	浜松チームタイタン		1'58.839
以上 Q1にて決定:				
参加台数 29 台 出走台数 29 台				
予選通過基準タイム (108%) 1'57.866				

ポールポジション: 1'48.693
#13 高橋 巧 Team HRC



『公式予選では、4輪のタイヤラバーの影響や路面温度が上がりがグリップの悪い中、1周のタイム出しなら何とかとめることができましたが、レースラップは走ってみたいと(ケガの状態は)分かりません。とにかく精一杯走るだけですね。公式予選は、少しでも前からスタートできれば、いいなと思い3回集中してアタックしました。そのタイムが、運よくポールタイムとなり、一番前からスタートできることになりました。あくまで予選はスタートポジションだけなので、一番大事なレースに向けて気持ちを切り換えて集中して走ります』

予選2番手: 1'48.785
#1 中須賀 克行 YAMAHA FACTORY RACING TEAM



『金曜日に比べて気温も路面温度も上がることは、分かっていたし、そのコンディションにいち早く合わせる事ができたライダーが前に来ると思っていました。自分自身は、Q1でなかなかリズムを合わせられず、タイヤのいいところも使えず決していい予選ではありませんでしたが、決勝に向けては、いい状態になってきていると思います。レースは23周と長いので、集中して、しっかりやれることをやろうと思っています。鈴鹿、SUGOと(高橋選手と)バトルをできていないのでプレッシャーをかけられる位置でレースをしたいですね』

予選3番手: 1'48.827
#634 水野 涼 MuSASHi RT HARC-PRO.Honda



『3番手という結果は、率直にうれしい気持ちと悔しい気持ちがあります。金曜日でもQ1でも2番手だったので、Q2はポールポジションを目指して臨んだので3番手は悔しいですが、JSB1000クラスでやっとフロントロウに並ぶことができたのは、自分自身成長できている証だと思いますし、一歩ずつ前進できていると思います。レースは、高橋選手、中須賀選手というJSB1000クラスをリードする2人に早く追いつけるようにベストを尽くすだけです』



予選でのベストグリッドを獲得した水野涼。どんなレースを見せてくるのか、楽しみだ。

INFORMATION

tv. **motoChannel**
tv.Moto EASY25

パワーアップして全国無料放送!!

全日本ロードレース選手権、全日本モトクロス選手権をダイジェスト編集。モーターサイクルスポーツバラエティ「tv.motoちゃんねる」として全国無料放送のBS12で放映!!

●放映予定: 毎月最終土曜日21:30~22:00 (月1回、3月~12月予定)

☆詳しくはBS12(トゥエルビ) <http://www.twelliv.co.jp/>



MFJ Live CHANNEL

全日本ロードレース選手権全戦・全クラス(JSB1000/J-GP2/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250)の予選・決勝をライブ配信! 迫力ある映像をお届けします。
※通信環境により遅延配信となる場合もあります

インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!